



# 黎明

同窓会だより れいめい

山形県立鶴岡中央高等学校

第 24 号

発 行  
山形県立鶴岡中央高等学校  
黎明同窓会  
鶴岡市大宝寺字日本国410  
0235(25)5723

印 刷  
(株)杉葉堂印刷  
0235(22)5538



前回の赤川花火より



## 会長の挨拶 田中 俊彦

会員の皆様には、ご清祥にてお過ごしの事と存じます。

私は、昨年の八月に会長の職務を拝命致しました。浅学菲才ではありますが、同窓会の発展的な運営のために尽力いたしますので、宜しくお願ひいたします。

昨年から世界中で大流行している新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言やまん延防止措置などにより、自由に行動できない窮屈な日々の暮らしが続いています。

このような情勢の中、卒業式は限られた出席者で挙行されました。本年二月二十七日の入会式は会長一人の出席で行われ、二五六名の方を新会員として迎え入れました。

昨年は同窓会の総会が中止となり、初めて会報誌に記載した書面による提案を行い、決議の承認をいただきました。

同窓会の目的は、会則第八条「会員相互の親睦と研修に努め、

鶴岡中央高等学校の発展に寄与する」とあります。在校生の活躍を喜び、卒業後は親睦を深め合い、未来永劫母校を応援することを目的として活動を行っています。

旧家政高校・旧西高校・中央高校の卒業生は、地元をはじめ日本の各地で活躍しており、何時か何処かで出会うことがあります。会員の皆様からは是非、同窓会行事に積極的に参加していただき、近況報告や思い出などを語り合っていただきたいと思います。

変異型にも効果があるワクチンの接種により、集団免疫ができ、普通の暮らしができる日々が一日でも早く来ることを皆様とともに期待したいと思います。まことに残念ながら、未だにウイルス感染の終息が見えず、今年も総会は中止いたします。

結びに、鶴岡中央高校の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸、更なるご活躍をご祈念申し上げます。

**みなんに  
会いたい**

去年も今年も、総会が中止になり、談笑しながら楽しいひとときの懇親会もなく、手元に残っている写真を見ながら懐かしさに浸っています。

あの人も、この人も居たつけね、思い出の写真を、ごらん下さい。

中止になり、談笑しながら楽しいひとときの懇親会もなく、手元に残っている写真を見ながら懐かしさに浸っています。

あの人も、この人も居たつけね、思い出の写真を、ごらん下さい。



令和三年度の同窓会、総会も残念ながら中止となりました。コロナ禍で大変な所、同窓会だよりに御寄稿いただきありがとうございました。

コロナの早い終息と皆様にお逢い出来る事を、楽しみにしております。

松浦・記

新型コロナウイルス 感染症は、昨年から続いているおり、いまだ終息の見通しはついておりません。最近では感染力の強い変異株が検出されております。

医療従事者・高齢者に対するワクチン接種も始まりました。延期された東京オリンピックは開催される予定で、進められているよ

うです。

会、総会も残念ながら中止となりました。

コロナ禍で大変な所、同窓会だよりに御寄稿いただきありがとうございました。

コロナの早い終息と皆様にお逢い出来る事を、楽しみにしております。

**編集後記**



## 「黎明」に寄せて

校長兼予由看

令和三年度を迎える、新型コロナウイルス感染症の収束は、いまだ見えない状況ですが、学校教育現場では、「新規」、生徒様式一に基づく

「新しい生活様式」に基き、感染予防対策を講じ、これまでの経験と新たな発想や工夫によつて授業や行事を行つています。また、「障害」に対応するため、学校のICT環境は大きく前進しており、現在、18教室に無線LAN(WiFi)が整備され、授業で活用できるようになりました。県の「一人一台端末実証実験」の協力校として、二年次生が先行して端末を用いた学習活動を行つております。四月末のオンライン学習の際には、その様子の取材を受けることとなり、新聞やテレビをご覧になつた方もいらっしゃるのではないかでしょうか。しかし、ICT環境が整備されて自宅学習が可能になつたことで、

やはり、対面に勝るものはなく、改めて授業の大切さ、学校教育活動の必要性を再認識しております。

部活動では各種大会や発表会の中止や制限がありましたが、知恵を出し合い、生徒の活躍の場を確保していくことを考えていました。また、生徒にとって一大行事である「学校祭」は、今年度も一般公開をしない形で実施することとしました。やりたいことをどのように実現するか、今、模索中です。この「黎明」が発行される頃、生徒の瑞々しい感性によつて、新しい「学校祭」が創造されていることと思います。

元気に活躍する鶴岡中央生の姿を多く発信できるよう、同窓生や地域・保護者の皆様との連携・協力を大切に、教育活動を進めて参ります。同窓生の皆様には、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

# 晴山雨読の日々



鶴岡中央高校は、普通科と総合科の二つの課程に分かれています。普通科では主に大学進学を目標に勉強に励んでいます。また、キャリア探究という授業で、大學・職業調べや、地域課題の解決策を探る探究活動を通して進路についての知識を深めています。総合学科では系列に分かれ専門的な学習をして、進路実現を目指しています。様々な視点で地域を学び、総合学科発表会で地域の魅力や学習成果を広く発信しています。今年の生徒会は挨拶に力を入れています。社会に出てから最も必要なことなので、習慣化できるよう挨拶活動を行っています。また、募金活動やペットボトルキヤップ回収、町内美化活動など、様々な活動を行っています。



先日、突然に五年前の卒業生で、黎明同窓会理事の松浦繁子氏が来宅され、筆を持ちました。

大学を卒業して直ぐに、県立大山高校に初任校として勤め、三年後に新しい校名の県立鶴岡西高校の第一期生の普通科担任として、五四名全員を世に送り出しました。部活は山岳部で毎日放課後は、部員達と高館山に登りました。そして今は一人で高館山や金峰山の里山を楽しんでいます。その庄内を人生の青山と決めて県立山添高校に転校し、「俵雪」の調査研究して、十八年後に県立家政高校に転任になりました。担任を希望しましたが、生徒指導係になりました。柱はマナー向上と、ハイ・オアシス運動（ハイは返事、オはお早よう）を進めたり楽しい四年間でした。部活はバドミントン部で、選手達は秋庭コートの指導のもと、地区・県大会を制し、全国大会に団体で出場する事になりました。そこで『輝け北斗!!』をラケット風に横断幕にして、山口県まで遠征した貴重な顧問の思い出があります。

その西高の一期生達は、今七〇代で地元でも大活躍し、今も交流があり生甲斐です。そして家政高校時代の生徒達は、五〇代で町の中で声をかけられる事があり幸を感じます。

現在、八四才で七回目の牛年を迎えて、所々の体が痛みますが、晴山雨読の日々を楽しんでいられるのは、各学校での出会いの教育の縁のお陰とい感謝しています。

地区の発表会に間に合わせたことがあった。生徒たちにとつても、私にしても台本の創作などということははじめてで、まさにみんなの意見をとり入れて創った創作劇だった。地区の発表がすんでからも県大会まで大幅に変更したりで毎回ドキドキの思いだった。さてその本番の舞台だが、ファーストシーンは広い静かな湖面を一艘の渡し舟が進んで来て中央に止まると中から若い娘が立ち上がり鋭い声で「いやだ、そんな生けにえなんかになりたくない、私はいやだ」と叫んでひよいと舟べりをまたいで湖面に立つ。あわてて他の乗客や船頭たちが声を上げ、止めようとするが間に合わず、さらに舞台両袖から制服姿の演出の生徒やスタッフ、他の生徒らが飛び出して来て、いつの間にか輪を作つて座り込み、口々に自分の考えをのべて話し合いをはじめめる。つまり現代のおばこ達の討論会がはじまるのだが、この奇抜な展開は練習で、あまり生きなかつた。本番の大道具や衣装があつてはじめて効果を發揮した。現代のおばこへの見事な芸能ぶりだ。

# 卒業生の思い出

## 新たな出会い



令和3年  
中央高卒  
斎藤 旭

私は、鶴岡中央高校を卒業し東北工業大学に通っています。大学生活が始まって一ヶ月が経ちますがまだ慣れないことが多くあります。友達がゼロの状態から始まつたので不安がありますが、今となっては多くの人と出会い、毎日が充実しています。また、大学生になり一人暮らしをしています。今まで家事をすることができなかつたため、料理や洗濯をしながら勉強に取り組むのは、大変なことだと身をもって感じています。

この体験をしているからこそ、改めて親に感謝しながら生きています。

生活していきたいです。私は部活とサークルに加入し、先輩や同級生と楽しく活動しています。県外から来ている人も多く、個性が強い人であつたり、いろんな考え方を持つている人がいます。

これから人と上手く関わっていくことを大学生活だけでなくバイトを通して学び、社会性を構築していくことです。工業大学ということもあるので、専門的な資格にもどんどん挑戦していきたいと考えています。

後輩の皆さんには大学に行つてから何をしたいのかしっかりと決めてから、進路実現に向けて勉強を頑張つてもらいたいです。

## 新しい環境で



令和3年  
中央高卒  
佐藤 和

私は新社会員として、現在実習を行っています。その中で、週に二回行われる研究会で実習先で学んでいることをグループで研究していることがあります。つい先日には中間発表として発表会を行ない、先輩方からたくさんのアドバイスをいただいたのですが、それを活かしてより学びを深めていこうと思っています。

初めは慣れない環境でとても緊張しましたが、同期や先輩方など周りの方々がとても優しく、暖かい人ばかりだったので、毎日楽しく過ごせています。

六月の初めまで続く実習の中でもたくさんのこと学び、自分の力にしていきたと思います。また、実習が終ると本配属としてどの部署に配属されるかが決定します。六月から同じ会社内ではあります、また、実習が終わると不安もありますが、鶴岡中央高校で培った力も活かして、日々頑張っています。

私の高校卒業からの歳月は、鶴岡を離れてからの歳月に等しくなります。それでも、つい最近の出来事に思えるのは、当時の「部活動」のメンバーとの交流が続いているからであると思います。やはり、鶴岀を離れた現在は日々の日常のなかで高校時代を顧みることは少なくなりました。それでもひとつたび、部活動の面々と集まれば、自然と当時と変わらない、楽しい時間をお過ごしています。この拙い繋がりは私が鶴岡中央で得た財産だと思います。

最後になりますが、当時の生徒会長が、10年後も思

## 10年後も 思い出せる中央高校



平成24年  
中央高卒  
奥山 航平

自身が高校を卒業し、何年目であるかは自身の年齢から考えれば容易にわかることです。が案外このような機会を頂かなければ、意識することは少ないのではないかでしょうか。私も例外なく、昨日の様に感じる日々が9年前であることを



## 部活の思いで!!



平成24年  
中央高卒  
丸山 裕晃

十年前は、ちょうど高校三年生でした。今、当時のことを振り返ると充実した毎日だったと感じます。今は当時付き合っていた同級生と結婚し、一児の父です。高校三年間の思い出は、学祭等のイベントはもちろんですが、日常生活の思い出が多くあります。

私は、三年間サッカー部に所属し毎日部活の仲間達と一緒に汗と鼻水を垂れ流しながらボールを追いかけていました。十年間という長い間で共に苦しみ笑いあつたからこそ無意識のうちに信頼関係を築いていたのかもしれません。

## 懐かしい家政高



平成7年  
家政高卒  
岡部麻依子

家政高を卒業して早く二十七年。今となっては遠い思い出になってしまったように感じる今日この頃です。今は家政高の校舎は無くなつてとても淋しいです

が、校舎があつた通りをみるとあの頃の思い出が蘇ります。本当に懐かしく思います。私が最初は旧校舎と新校舎があつて、私がいた普通科は旧校舎で学びました。昔ながらの木造校舎とグランドリットだと感じており、中央高校で良かったと年々強く思うようになりました。

漫画家として活躍する同級生もいます。同級生の活躍を糧に自分らしさを忘れずに頑張つていこうと思いま

たと思います。三年間、担任だった堀朋先生は、授業前の号令の時必ず手話で挨拶されました。それが今も忘られません。部活動やクラス行事：沢山あつた中で鮮明に覚えているのは修学旅行でした。新幹線で京都・奈良に三泊四日で行き、清水寺で三つのうち一つだけ願いが叶う音羽の水を飲んだ事が忘れられません。

時は去つて、今も尚、友達関係が続いて、何げない駄菓子が一番幸せだなあと感じるこの頃です。人生で無駄な事は一つもなく、もちろん高校で培ってきたものは私の財産です。これから

## 起ころる事は総てに繋がる人生の運



昭和38年  
鶴岡西高卒  
佐藤 正一

漁村（由良）で育つた私は、3年間大山までS-Lで通学した。乗り合わせる浜のアバやら、鶴岡へ向かう人々の、方言が心地よい。そんな時代だった。商業課程の私には簿記、算盤3級の資格を取る事が命題だった。そのことが私の人生を大きく変える要因になるとは、其の時は気が付くはずも無かった。個性ある先生方の恩恵を受けつつ、授業中に話してくれた先生の言葉が、ずっと心の中で生きている。人生を山に例えられ「山頂に立つ事は、大事な目標であるが、登る過程の汗の中に何かを見出

欲しい。」直ぐには答えが見つからない「汗」とは？更には勝手に担任の先生との無言の約束、飛び切りの成績を上げること。がんばったね！何も言わず頭をなでてくれた先生の手の温もり。後に、これらの総てが繋がつていく。卒業後、順風満帆ではなかつた。都会での半年、ドラマチックな足跡。それでも帰る場所の故郷の海は、荒々しくも負けるなど鼓舞してくれた。そんな迷いの中で、市の臨時職員の募集。算盤3級が条件だった。そして「汗」とは、努力に他ならない。その後、市の職員として採用され、一方では、「街は劇場だ」の理念で、演劇、街づくり、生涯学習講師と多様性である自分を否定しないで生きている。その礎を作ってくれた高校生活に感謝したい。



## 令和2年度 寄付者芳名簿

### 旧如蘭支部

富樺 洋子	5,000円
佐藤真由美	3,000円
黒崎 幹子	2,000円
田巻 和子	1,000円
山崎 貞子	1,000円
笹原 悅子	1,000円
渡部 満	2,000円
井上 節子	1,000円
斎藤 宣子	1,000円
高野 俊	1,000円
広瀬 多美	3,000円
梅木 康子	1,000円
小幡 明子	3,000円
富樺 光子	8,000円
高田 節	1,000円
佐藤登志子	3,000円
柴田 和恵	5,000円
門脇 律子	1,000円
伊藤 優子	10,000円
太田 久美	2,000円
三村 妙子	1,000円
齋藤 和子	1,000円
石川 み江	8,000円
小山田 真生	1,000円
成澤 美保	3,000円
匿名希望	2,000円
<b>旧 西 高</b>	
五十嵐 一利	3,000円
遠藤 晴知子	3,000円
佐藤 富夫	1,000円
太田 武	3,000円
我孫子 均	3,000円
富樺 秀雄	1,000円
山中 秀一	1,000円
鈴木 明彦	8,000円
菅井 政志	2,000円
斎藤 泰宏	3,000円
五十嵐 俊一	10,000円
岩城 公志	3,000円
小池 妙子	3,000円
若松 祐	2,000円
小林 清美	1,000円
丸市 明子	3,000円
蛸井 勝正	10,000円
佃 源治	10,000円
小野寺 離璃子	1,000円
佐藤 丈夫	3,000円
白幡 政喜	1,500円
日野まゆみ	8,000円
佐藤 山貴	3,000円
菅原 充	1,000円
井上 克浩	3,000円
齋藤 勝元	8,000円
小野寺晶夫	1,000円
<b>中 央 高 校</b>	
佐藤 将	3,000円
高橋 勇一	1,000円
忠鉢 健	3,000円
土田 吉浩	3,000円
忠鉢 結	3,000円
藤本 大樹	1,000円
佐藤 紋	1,000円
<b>旧 職 員</b>	
河口 昭俊	2,000円
松田 大樹	3,000円
池田 清	2,000円
佐藤 博幸	2,000円
桜井 茂	5,000円
日向 香菜	2,000円
<b>現 職 員</b>	
菅原 智	2,000円

—ありがとうございました—

姓・住所など変更のあった時は是非下記までお知らせ下さい。

〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国 410 鶴岡中央高等学校黎明同窓会事務局 宛  
TEL 0235-25-5723 FAX 0235-25-5733

★卒年、組、会員番号、氏名を忘れずに記載して下さい。

## 役員名簿(令和3年度)

役職名	氏名	備考(卒業年)
顧問(学校)	兼子 山香	中央高校長
顧問	遠見 昌明	2代会長39
顧問	坂 善彦	3代会長48
顧問	富樺 洋子	4代会長46
顧問	半澤 正昭	元幹事長43

役職名	氏名	備考(卒業年)
会長	田中 俊彦	西S49
副会長	佐藤真由美	家S59
副会長	吉住 年正	西H1
副会長	佐藤 将	中H18
幹事長	東海林 良哉	西S49
副幹事長	東海林 宏	西S54
幹事	長南 雄太	中H24
幹事	常田 拓哉	中H24
幹事	高橋 秀典	中央高教頭
幹事(学校)	後藤 俊之	中央高教頭
幹事(学校)	成澤 弘之	中央高総務広報課
幹事(学校)	斎藤 土香里	中央高総務広報課
幹事(学校)	阿部 隆幸	中央高総務広報課

役員の退任、就任について

幹事長 丸山 隆逸 退任  
新幹事長 東海林 良哉 就任

第1回常任理事・理事会・当番幹事合同会議(6月25日開催)で承認されました。

## 令和2年度 会費納入者芳名簿

### 旧如蘭支部

家政44年卒	佐藤 純子	富 樺 秀 雄	西52年卒	西平成9年卒
立石 たけ子	西31年卒	門脇 律子	西53年卒	佐藤 亜伊子
佐藤 文夫	西45年卒	横山 美秀	西54年卒	小泉 亜紀
五十嵐 晴美	西32年卒	伊藤 優子	西55年卒	中央高校
田巻 和子	西34年卒	佐藤 寛	西56年卒	中央平成11年卒
家政45年卒	富 樺 洋 子	富 樺 美 彦	西57年卒	安野 亮平
五十嵐 美子	西35年卒	宮崎 美彦	西58年卒	高橋 勇一
田巻 和子	西36年卒	木原 美彦	西59年卒	中央平成12年卒
家政26年卒	五十嵐 菊美	佐藤 一郎子	西60年卒	忠鉢 健晃
菅原 豊美	西37年卒	佐藤 忠一	西61年卒	西塔 和晃
小野寺 才	西38年卒	吉田 仁	西62年卒	匿名希望
家政27年卒	五十嵐 美子	太田 美祐	西63年卒	中央平成13年卒
孫田 孝子	西39年卒	菅原 賢一	西64年卒	土田 吉浩
山崎 貞子	西40年卒	日下部 一	西65年卒	中央平成14年卒
遠藤 しん	西41年卒	梅木 宗	西66年卒	工藤 友曉
家政29年卒	太田 久美子	菅原 耕	西67年卒	忠大 井直人
笛原 悅子	西42年卒	梅木 美雄	西68年卒	中央平成15年卒
家政31年卒	渡部 満	西43年卒	西69年卒	石黒 誉九
家政33年卒	斎藤 和子	西44年卒	西70年卒	藤本 大樹
小野田 文子	西45年卒	佐藤 六喜	西71年卒	中央平成16年卒
家政35年卒	菊池 美智子	西46年卒	西72年卒	佐藤 友彦
黒崎 幹子	西47年卒	佐藤 清由	西73年卒	中央平成17年卒
工藤 宣子	西48年卒	昌 耕	西74年卒	山本 寛之
斎藤 宣子	西49年卒	遠鶴 圈	西75年卒	中央平成18年卒
井上 節子	西50年卒	川 越 由	西76年卒	佐藤 将
家政36年卒	菅原 啓子	菅原 啓	西77年卒	中央平成21年卒
佐藤 嘉久子	西51年卒	石 藤 美也	西78年卒	田中 翔太郎
尾崎 光子	西52年卒	高 橋 元	西79年卒	佐藤 叶望
家政37年卒	高野 俊	小山田 真生	西80年卒	中央平成24年卒
佐藤 美和	西53年卒	滝 口 まゆみ	西81年卒	佐藤 勝太
大川 昌子	西54年卒	鷺 美里	西82年卒	中央平成29年卒
家政38年卒	成澤 美保	西55年卒	西83年卒	佐藤 紋
藤野 優子	西56年卒	佐藤 まさ子	西84年卒	中央平成30年卒
家政39年卒	佐藤 真由美	富 樺 貞	西85年卒	橋本 将矢
広瀬 多美子	西57年卒	丸 山 千賀	西86年卒	中央平成31年卒
上原 玲和子	西58年卒	小玉 節	西87年卒	斎藤 風花
大塚 康明子	西59年卒	原 田 裕	西88年卒	中央令和2年卒
梅木 幸子	西60年卒	西60年卒	西89年卒	五十嵐 美佳
小大 潤川素子	西61年卒	田 澤 美	西90年卒	斎藤 明雄
富 樺 光子	西62年卒	五十嵐 美和	西91年卒	長谷川 俊輔
家政40年卒	高 田 節	西63年卒	西92年卒	佐藤 雪
曾根 喜美子	西64年卒	西64年卒	西93年卒	佐々木 利進
薩美 敏子	西65年卒	西65年卒	西94年卒	西平成2年卒
今野 艷子	西66年卒	西66年卒	西95年卒	本間 進
家政42年卒	高 田 節	西67年卒	西96年卒	西平成3年卒
佐藤 登志子	西68年卒	西68年卒	井 上 和歌奈	西平成4年卒
家政43年卒	佐藤 憲二	西69年卒	西平成5年卒	佐藤 剛志
西 山 日出子	西70年卒	西70年卒	西平成6年卒	黎 明 (れいめい)
佐々木 陽子	西71年卒	西71年卒	井 上 和歌奈	256名
柴田 和恵	西72年卒	西72年卒	西平成7年卒	全員納入
中川 涼子	西73年卒	西73年卒	西平成8年卒	

令和3年3月卒業  
256名  
全員納入

## 令和3年度 活動方針(案)

- 鶴岡中央高校への関心の高まりを力に、会員相互の親睦と更なる母校の発展に寄与します。
- 同窓会運営の現状を鑑み、運営の在り方を模索します。
- 引き続き中央高校卒業生の同窓会運営への参画を促し、組織と活動の活性化を目指します。

### 令和3年度 一般会計予算書(案)

自令和3年6月1日  
至令和4年5月31日

#### 【収入の部】 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 入会金	1,060,000	1,290,000	△ 230,000	令和4年3月卒 212名×5千円
2 年会費	664,000	756,000	△ 92,000	令和4年3月卒 212名×2千円= 424千円 一般会員 120名×2千円= 240千円
3 寄附金	100,000	100,000	0	
4 繰越金	1,289,834	924,993	364,841	前年度繰越金
5 雑収入	166	7	159	預金利息
合 計	3,114,000	3,071,000	43,000	

#### 【支出の部】 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 運営費	760,000	764,000	△ 4,000	
(1)事務費	50,000	99,000	△ 49,000	事務用品
(2)事務委託費	390,000	390,000	0	團費職員賃金
(3)備品費	5,000	5,000	0	
(4)通信費	50,000	35,000	15,000	会議案内用ハガキ・切手代
(5)会議費	60,000	60,000	0	各種役員会等
(6)旅費	135,000	135,000	0	関東支部出席 学校2名 同窓会3名
(7)雑費	70,000	40,000	30,000	入会式生花 2万円 ゆうちょ銀行払込料金等 5万円
2 事業費	1,690,000	1,672,000	18,000	
(1)総会費	530,000	530,000	0	総会用ラベル等 2万円 総会費 24万円 総会案内ハガキ印刷代 22万円 広告費 5万円
(2)会報発行費	900,000	882,000	18,000	会報用名簿出力等 8万円 印刷費 37万円 会報配送料 40万円 会報封入封締 4万円 編集諸費用 1万円
(3)卒業記念品費	120,000	120,000	0	
(4)後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(5)同窓会開催祝金	30,000	30,000	0	
(6)慶弔費	10,000	10,000	0	
3 基金積立金	600,000	600,000	0	
(1)基金積立金	300,000	300,000	0	
(2)財政調整基金	300,000	300,000	0	
4 雑費	25,000	25,000	0	
5 予備費	39,000	10,000	29,000	
合 計	3,114,000	3,071,000	43,000	

総会資料(議案第1号,第2号)について、第1回常任理事会・理事会・当番幹事合同会議(6月25日開催)で承認されました。ご不明な点がございましたら、令和3年8月21日まで黎明同窓会事務局にお問い合わせください。ご連絡がなければ承認されたことといたします。

## 令和2年度 活動報告

- 鶴岡中央高校への関心の高まりを力に、会員相互の親睦と更なる母校の発展に寄与しました。
- 役員改選を機に、新体制の下、同窓会運営の在り方を模索しました。
- 引き続き中央高校卒業生の同窓会運営への参画を促し、組織と活動の活性化を目指しましたが、新型コロナウィルスの影響を受け、会員の安全と健康を考え、総会は中止となりました。

### 令和2年度 一般会計決算書

自令和2年6月1日  
至令和3年5月31日

#### 【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 入会金	1,290,000	1,280,000	△ 10,000	令和3年3月卒 256名 × 5千円
2 年会費	756,000	936,000	180,000	令和3年3月卒 256名 × 2千円= 512千円 一般会員 120名 × 2千円= 240千円
3 寄附金	100,000	253,500	153,500	
4 繰越金	924,993	924,993	0	前年度繰越金
5 雑収入	7	5	△ 2	預金利息 5円
合 計	3,071,000	3,394,498	323,498	

#### 【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 運営費	764,000	466,181	△ 297,819	
(1)事務費	99,000	220	△ 98,780	事務用品
(2)事務委託費	390,000	348,480	△ 41,520	團費職員賃金
(3)備品費	5,000	0	△ 5,000	
(4)通信費	35,000	36,450	1,450	会議案内用ハガキ、切手代
(5)会議費	60,000	25,902	△ 34,098	各種役員会等
(6)旅費	135,000	0	△ 135,000	
(7)雑費	40,000	55,129	15,129	卒業式生花 16,500円 ゆうちょ銀行払込料金等 38,629円
2 事業費	1,672,000	1,038,483	△ 633,517	
(1)総会費	530,000	73,612	△ 456,388	総会中止の新聞広告費
(2)会報発行費	882,000	748,771	△ 133,229	会報印刷費 302,412円 編集諸費用 2,800円 会報発送・封入・封締 443,559円
(3)卒業記念品費	120,000	116,100	△ 3,900	証書ホルダー
(4)後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(5)洞開会開催祝金	30,000	0	△ 30,000	
(6)慶弔費	10,000	0	△ 10,000	
3 財政調整基金積立金	600,000	600,000	0	
(1)基金積立金	300,000	300,000	0	
(2)財政調整基金	300,000	300,000	0	
4 雑費	25,000	0	△ 25,000	
5 予備費	10,000	0	△ 10,000	
合 計	3,071,000	2,104,664	△ 966,336	

収入決算額 3,394,498円 - 支出決算額 2,104,664円 = 残金 1,289,834円を次年度へ繰越

### 令和2年度 各特別会計決算書

自令和2年6月1日  
至令和3年5月31日

#### 1 基金積立金特別会計

##### 【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 繰越金	886,519	886,519	0	積立金残金
2 積立金	300,000	300,000	0	
3 雑収入	481	8	△ 473	預金利息
合 計	1,187,000	1,186,527	△ 473	

##### 【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
合 計	0	0	0	

収入決算額 1,186,527円 - 支出決算額 0円 = 差引残金 1,186,527円 次年度へ

記録 ※ 平成20年度 10周年記念事業負担金 100万円の内 786,000円支出  
※ 平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出  
※ 平成30年度 創立20周年記念事業負担金 1,500,000円支出

#### 2 環境緑化・施設整備協力金特別会計

##### 【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 繰越金	3,062,637	3,062,637	0	協力金残金
2 協力金	258,000	256,000	△ 2,000	令和3年3月卒業生256名 × 1,000円
3 寄附金	0	30,000	30,000	前幹事長 半澤正昭様より
4 雑収入	363	25	△ 338	預金利息
合 計	3,321,000	3,348,662	27,662	

##### 【支出の部】 (単位 円)

項目